

# 「島根県における統計の普及啓発活動の取り組み」

## 補足及び質問

森 永壽・島根県政策企画局統計調査課

連絡先 島根県松江市殿町1

TEL 0852-22-5070 FAX 0852-22-6044

E-mail mori-hisatoshi@pref.shimane.lg.jp

本県の統計教育への本格的な取り組みは昨年度はじまったばかりである。昨年度は、岐阜県の実践の視察やこのワークショップへの参加をはじめとする情報収集を行なったほか、統計の重要性について、地元の大学での出前講座や、グラフコンクールの先生方への説明の場で、説明もした。今年度は、地元大学のほか、三つの中学校で出前講座を行なった。中学校では、地域の人口ピラミッド作りを通して人口の変化を見てもらったところ、生徒の地域への関心も高まったようである。詳細は本県ホームページ (<http://www.pref.shimane.lg.jp/admin/pref/toukei/hukyu/demae.html>) をご覧いただきたい。

ところで、統計の説明をするときには、中学校でも大学でも、統計数字と現実社会とのつながりを強調した。出前授業を通して、中学生からは、「調べたものを元にして、より良い社会づくりに役立てたい」との感想があった。実際、理数系の世界では、実験や観察からデータから法則を見だし、その法則と現実とのつながりを確かめることで、物理学と数学がお互いに発展した。同様に、公的統計データも、現実社会を表した数字であり、この数字を元にしてさまざまな施策が立てられている。このフィードバックを元に社会をよくしていかなければならない。

こうした意味で、理数的な教科においても公的統計・社会統計を積極的に使っていただければと思っている。

さて、出前授業などに取り組む中で、気になっていることが3つある。

### ●統計調査の調査環境の改善の手応えは？

たとえば、グラフコンクールへの出品数の増加や、国勢調査などの周知につながっているだろうか？ また、今後、統計調査の宣伝をどのように組み込んでいけばいいだろうか？ 直近の国勢調査の大学生へのPRは焦眉の急である。

### ●他部局・他自治体等との連携・情報交換は？

他部局との連携や情報収集はどのようにしているか？ 県庁と教育委員会は別組織なので、なかなか連携が難しいものである。

また、国から出前授業のサンプルや参考となる情報の提供があればとも考える。

### ●出前講座の将来対策は？

出前講座の準備・実施には大きな負担が強いられる。出前講座を実施できる職員も限られているので、注文が殺到したらどうしようかと真剣に心配している。

今後の出前講座にむけて、どのような対策をすればいいだろうか。教員向けの説明会などの開催方法の検討だけでなく、後継者づくりなども含めて考える必要がある。